



学力向上への取り組み

～コース別算数学習～

PROFILE

横浜市立荏田南小学校 (校長 阿部千鶴)

横浜市の北部、港北ニュータウンの一角に位置している。大きな公園や緑道が整備された、閑静な住宅街にある。荏田南中学校、荏田南幼稚園に隣接しており、近隣には保育園や荏田高校もある文教地区である。開校当時、ニュータウン開発を行う前の土の色を残そうと、現在の校舎の色(フラミンゴ色)になった。「みんな笑顔の温かい学校」を目指し、様々な挑戦を続けている。



1 コース別算数の導入

算数は毎日ありますが、得意、不得意の差が出やすい教科です。算数がわからないと、学校に行くこと自体がつまらなくなってしまうのではないのでしょうか。全児童に算数を好きになってもらおうと始めたのが、「コース別算数」です。

本校では3年生以上で、コース別算数(習熟度別少人数指導)を導入しています。

学級ごとではなく、個々に合ったコースを子どもと保護者に選んでもらい、さらに学年の学級数プラス1のグループに分けて少人数で学習する取り組みです。

コースは、「じっくりコース」「ていねいコース」「はってんコース」の3つを用意しています。全学年3学級編成の本校では、「じっくりコース」「ていねいコース」のいずれかを2つに分けて4つのグループを作っており、学年の教員プラス1名が指導にあたっています。学年の算数の時間をそろえる必要がありますが、プラス1名の教員は週に5時間の持ち時間で1学年を担当することができます。

<じっくりコース>

問題を解く量を減らし、じっくり解説するコース。発展問題は扱わないが、基本的な問題をじっくりと学習することができる。必要に応じて復習も行い、納得してから次に進むことができる。



じっくりコースの授業風景

<ていねいコース>

教科書通りにていねいに進める基本となるコース。教科書を中心に進め、学習したことを着実に身につけることをねらいとしている。

<はってんコース>

思考力、発想力を育てる。通常より速いスピードで進め、より多くの問題を解く。発展問題や難問にもチャレンジすることができる。

学習する集団のターゲットを明確にして、教え方、教材等も必要に応じて変更しています。

コースの選択は、保護者と児童が相談して行うことにしています。单元ごとにコースを変更したい児童の希望を取っており、コースの出入りは自由です。

人数のばらつきは单元によって違いがありますが、「はってんコース」は人数が多くなっても分けることはありません。「じっくりコース」は、多い時でも20名以下です。

2 児童、教師の反応

算数の苦手な「じっくりコース」の反応を紹介します。

【教師の反応】

- ・「じっくりコース」はみんな意欲がすごくて、算数の授業中は積極的に発言したり問題を解いたりしています。コース別の成果がでてきています。
- ・今日の最後の問題は全員が自力で解くことができました。「じっくりコース」でこのようなことはなかったので、とてもうれしくなりました。



じっくりコースで個別に指導する場面

【児童の反応】

- ・前より算数が楽しくなった。
- ・じっくりコースだとわかりやすく、点数もどんどんあがっているのでよかった。
- ・わからないことはきちんと細かく教えてくれるので、苦手な算数のテストも高得点だった。うれしい。
- ・ゆっくり進めているから、わかりやすい。
- ・私は算数が苦手で、なかなかみんなに追いつけなくてテストの点数も悪かったけど、コース分けしてテストの点もよくなりました。よかったです。

3 学級算数との違い

学級で算数の授業を行うと、教師は理解度や習熟度のばらつきに対応しなければいけません。早く終わった子のために数種類のプリントを用意したり、理解の難しい子のために「ヒントカード」を用意したりしています。

よくできる児童がどんどん発言し、わからない児童は問題をやって困っても、「わからない」「ちょっとまって」とはなかなか言いにくいものです。

ところが、「じっくりコース」や「ていねいコース」では、周りがみんな自分と同じレベルの集団なので、遠慮なく「わからない」「ちょっとまって」と言うことができます。また、だれもが発言することができます。教師の方も、一人ひとりに目が行き届きやすくなります。

「よくできる」児童と「わからない」児童が混在した集団がどんなに教えにくいのか、算数の時間が「わからない」児童にとって、どれだけつらい時間であったのかが改めてよくわかります。

今後も、学校にいる全ての児童が「算数が好き」「算数楽しい」と言ってくれることを願って、コース別算数の取り組みを続けていきます。